

外国にルーツをもつ子どもたちの 「書きたい」気持ちを高めよう！ ～はがき新聞の魅力から～



「はがき新聞」は、子どもたちが短時間で気軽に書ける表現ツールです。「書く」ことによって自分の考えを整理し、相手に伝えることを意識し、確認することができます。また、継続することで、子どもたちの要約力や構成力など「言葉の力」も育むことができるようになります。

特に、今回は日本語指導が必要な児童生徒のための、より効果的な支援ツールとしての「はがき新聞の魅力」をご紹介します。



2019年10月12日(土)

愛知教育大学 教育未来館多目的ホール

13:30～16:00(受付13:00～)

講師：田中 博之 先生 (早稲田大学教職大学院教授)

(プロフィール) 1960年北九州市生まれ。大阪大学人間科学部卒業後、大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程在学中に大阪大学人間科学部助手となる。その後、大阪教育大学教授を経て、2009年4月より現職。1996年、2005年にロンドン大学キングスカレッジ教育研究センター客員研究員を務める(マーガレット・コックス博士に師事)。総合的な学習の時間のカリキュラム、ドラマとサークルタイムの指導、活用学習とワークショップ学習の授業等の開発や、学力調査の研究開発に取り組んでいる。



実際に、はがき新聞をつくってみましょう。日本語指導が必要な児童生徒が楽しく日本語を学び、より豊かな学校生活を送ることができるようなヒントが見つかります。

皆さまお誘いあわせの上、ぜひ、ご参加ください！

<お申込み方法> 9月29日(日)締め切り

- ・愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルームのHP上の申し込みフォームにてお申し込みください。

(HP：<http://www.resource-room.aichi-edu.ac.jp>)

または ①氏名(ふりがな) ②所属 ③連絡先 を明記の上、下記お問い合わせ先にメールでお申し込みください。

<お問い合わせ>

愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルーム

TEL：(0566)26-2219(TEL/12:30～17:30)

FAX：(0566)26-2566

Eメール：gendaigp@aecc.aichi-edu.ac.jp

参加
無料

